



上智大学

SOPHIA UNIVERSITY

叡智が世界をつなぐ

Academic Integrityと 「上智大学の教育理念」

現状とこれからの取り組み

大学評価・学位授与機構

平成27年度大学質保証フォーラム

2015年7月27日 @一橋講堂

学校法人上智学院

理事長 高祖敏明

1. 上智大学(Sophia University)の現況

- 1913年(大正2年) 創立
- カトリック男子修道会「イエズス会」が設立母体
ーカトリシズムの精神に基づいた教育・研究の実践
- 9学部29学科、10研究科25専攻、1専攻科の総合大学
- 学部学生数 12,475名 (外国籍 571名)
[助産学専攻科 10名]
- 大学院学生数 1,330名 (外国籍 320名)
- 教員数 538名 (外国籍 82名)
- 職員数 289名
- キャンパス： 四谷、市谷(千代田区)、目白聖母(新宿区)、石神井(練馬区)、
秦野(神奈川県秦野市)、大阪サテライト(大阪市北区)、
※学生寮 (枝川寮(江東区)、祖師谷国際交流会館(世田谷区))
- 併設校 上智大学短期大学部、上智社会福祉専門学校、聖母看護学校



市谷キャンパスにある
聖フランシスコ・ザビエル像

Academic Integrity

米国では、Research Integrity と Academic Integrity に分けて論じられている。

- Research Integrity : 研究者になるために必要な教育
- Academic Integrity : 研究者になるか否かに関わらず必要な倫理教育。学部段階から必要。
 - 「研究活動の不正行為への対応のガイドライン」の見直し・運用改善等に関する協力者会議（第5回）議事要旨 より
(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/gijyutu/021/gijiroku/1350209.htm)
- Academic Integrity とは、「教員、職員、執行役員（理事会）など、大学の構成員すべてに求められるもの」
 - 「田中弥生オフィシャルサイト」 ブログ
(<http://tanaka841.com/blog/>) 2015年4月10日付け より

これまでの取り組み

学生向け

- 履修要覧（学部生向け）（2009年度～）
 - ✓ 「アカデミック・オネスティ（学問的誠実性）の涵養と遵守」の掲載
 - ✓ 「レポートや論文作成の上で守るべき引用の方法について」の掲載
- 履修要項（大学院生向け）（2015年度～）
 - ✓ 「学術研究倫理」の項を設ける
 - ✓ 博士論文審査基準の掲載（一般公開）（一部の専攻により実施）
- 剽窃チェックツール「Turnitin」の導入（2014年度～）
 - ✓ 提出されたレポートについて、剽窃の有無をチェックできる（コピペの判定）

教職員向け

- 研究活動倫理に関する説明会（2013年度）
- 研究費不正使用防止に関する、全役員・全教職員に対するガイダンス（2014年度）

「アカデミック・オネスティ (学問的誠実性)の涵養と遵守」

2015年度履修要覧（学部生向け）

● 試験やレポート・論文作成に臨むにあたって

◆ 「アカデミック・オネスティ（学問的誠実性）」の涵養と遵守

上智大学は、その校名Sophiaが意味するように、叡智を究極のものとして尊重します。そのため、以下の(1)(2)にしめされるような「アカデミック・オネスティ (academic honesty/学問的誠実性)」の態度の涵養を、皆さんに求めています。それは、Men and Women for Others, with Others の考え方に基づき、他者の尊重・他者との協調を重視する本学の取り組みの方向とも関連するものであります。

- (1) 先人や同時代人の研究・情報源に敬意をはらって学習しつつ、自ら新たに深めていく。
- (2) 継続的な努力をつづけることで、自らの基本的な学力の向上に努める。

学問的にオリジナルであろうとするあまり、守るべき研究上のルールが守られないこと（データの偽装や捏造など）、また、他者の研究成果を自らのものであるかのように偽ったり、それに無自覚的であることなどは、共に「アカデミック・オネスティ」に反する態度であるといえます。

自らの学習の成果を確認する場面である定期試験（筆記試験やレポート試験）においても、日ごろの学習と変わらぬ「アカデミック・オネスティ」の態度の遵守が求められます。したがって、カンニングやレポートの盗用など、不正行為は強く戒められるものとなります。上智大学の学生らしい知を愛する姿勢を、皆さんが様々な場面で尊重し、涵養していくことを望みます。

To promote “Academic Honesty” and to comply with its policy

BULLETIN OF INFORMATION 2015-2016
(For Undergraduates of Faculty of Science and Technology)

● Stance on Exams, Reports and Papers

◆ To promote “Academic Honesty” and to comply with its policy

As the name Sophia indicates, Sophia University respects wisdom in its ultimate form. We ask the students to cultivate an attitude of Academic Honesty based on the following two points; Sophia lays emphasis on its educational principle of respecting others and cooperating with others based on the concept of “Men and Women for Others, with Others”.

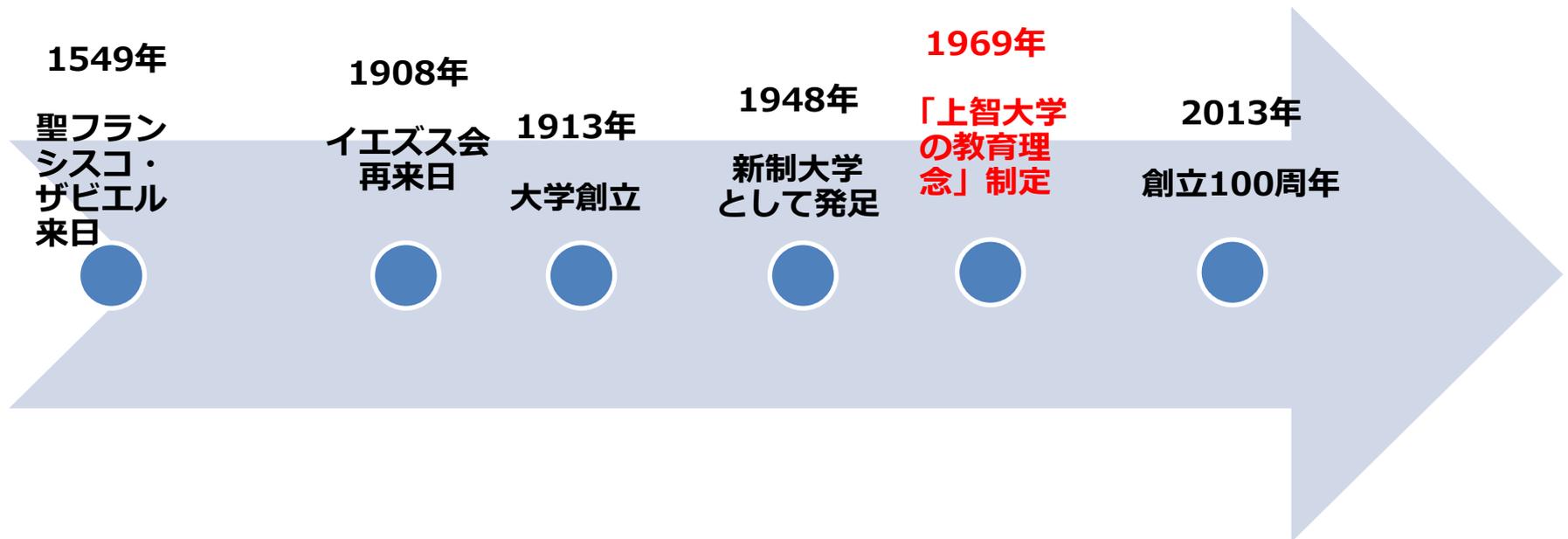
- (1) Students should respect the research and source of information of their forerunners and contemporaries and conduct independent and in-depth study.
- (2) Students should make continued effort to enhance their basic academic skills.

By observing these points, students will be able to avoid committing acts of academic dishonesty, such as breaking research rules (falsifying and fabrication of data) simply because they wish to be academically creative, or giving off research results of others as your own, or also unintentional plagiarism. All these are acts opposed to Academic Honesty.

Final exams are intended for a student to check how much the student has achieved in his/her studies (written exams or reports). We expect students to be honest and sincere in the exams as they always are in class. Dishonest acts such as cheating in exams and falsifying reports shall be severely punished. We ask the students to act with respect for wisdom in various scenes with the Sophian stance of respecting wisdom.

2. 上智大学の教育理念

- 1969年(昭和44年)12月18日、新たに制定
- 上智大学の将来に向けた基本的姿勢、教員・学生のあるべき姿、などを規定
- 上智大学のAcademic Integrityも、「教育理念」に沿った形で行われることが望ましいと考える。



上智大学の教育理念（1969年12月18日制定）

上智大学は、キリスト教精神を基底とし、真実と価値を求めて、人間形成につとめるものの共同社会である。したがって、本学は、構成員のおのおのが、人格の尊厳と基本的人権を認め合い、責任ある連帯感と謙虚な心構えをもって、それぞれの持ち場で、大学の形成に参加することを期待する。

教授は、学術の研究を尊重し、みずからの研究を深めることを通して、人類の精神的・知的文化を新しい世代に伝達するとともに、現代に生起する諸問題に目をそそぎ、人類の当面する課題について、意識を喚起するよう心掛けることが必要である。

学生は、専攻の学問を研究すると同時に、現代社会に対する鋭敏な問題意識と判断力を養成することが必要である。これによって、学生はみずからの人格を形成し、社会の建設に貢献する力を身につけることができるのである。

上智大学の教育理念（1969年12月18日制定）

本学は、その特色をいかして、キリスト教とその文化を研究する機会を提供する。これと同時に、本学は思想の多様性を認め、多種の思想の学問的研究を奨励する。このようにして、人間と世界の問題についての洞察力と批判的精神が養われる。

学問の発展のためには、思想と研究の自由が保障され、厳正な学問的態度が堅持されなければならない。したがって、本学は思想と研究に対して加えられる政治的、イデオロギー的圧力及びいかなる権力の介入も、これを許さない。

われわれは、激動する現代世界に向かって広く窓を開き、人類の希望と苦悩をわかちあい、世界の福祉と創造的進歩に奉仕することを念願する。

「上智大学の教育理念」の普遍性

「上智大学の教育理念」は、上智大学のすべての構成員が守るべき姿勢である。

- ✓ 教員は、思想の多様性を認め、学問的研究に励み、次世代に人類の精神的・知的文化を伝える。
 - ✓ 学生は、学問を通じて、現代社会に対する問題意識と判断力を養う。また、自らの人格を形成し、社会に貢献する力を身につける。
 - ✓ 職員は、教員の学問研究を支援するとともに、教員と協力して学生の人間的成長に寄与する。
 - ✓ 執行部は、上智大学における教育研究の自由を保障し、いかなる外部からの圧力も排除する。
- 「上智大学の教育理念」は、現代における教育・研究倫理を先取りし、Academic Integrityを展開する上で指針となるべきものである。

3. これから取り組むべき課題

役員・教員・職員に対して

- Academic Integrityを学内に如何に浸透させるか
 - ✓ 自己点検・評価による点検の実施
 - ✓ 教学監査・内部監査による点検の実施
- 役員は、評価・監査に基づき、リーダーシップを発揮して、学内にAcademic Integrityが浸透するよう、その実践を先導する。
- 教員は、自らを律し高度な学術倫理を実践するとともに、学生に対して適切な倫理教育を行う。
- 職員は、Academic Integrityの実践について、役員・教員の支援とともに、それぞれの立場でAcademic Integrityの浸透を実践する。

これから取り組むべき課題

教員・研究者・大学院生に対して

- 上智大学の教育精神 “Men and Women for Others, with Others” を実現するための教育研究の推進
- 研究者を対象とした、研究倫理に関する説明会・ガイダンスの実施
- 「人を対象とする研究」など、研究手法に対する倫理が求められる分野については、それに特化した説明会等を実施
- e-Learning教材の受講
- 博士論文審査基準の一般公開（公平・公正のため）

学部生に対して

- Academic Integrityに関する授業科目の設置の検討
 - ✓ 学部1～2年次生を対象とした必修科目
 - ✓ 共通テキストの必要性（教える側／教わる側の統一性）

Sophia – Bringing the World Together



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY